

峰のひかり

発行人

社会福祉法人 七峰会

理事長 奥田 稔

〒036-8356

青森県弘前市大字下白銀町 21-8

電話 (0172)33-8861

FAX (0172)33-8862



自分でメニューを考えて、ヘルパーさんに作ってもらっています。



食事の支度を自分でしています。今夜は天ぷらにしました。



第一回目のパレット町会を開きました。皆で楽しい町会を作るぞ！



自分の部屋で、パソコンを楽しんでいます。



家族と離れて寂しいと思う時もあるけれど一人のんびりの晩酌もいいよ。

身体障害者療護施設
福祉ホーム「山郷館パレット」
山郷館くろいし併設
「新生活にチャレンジ」

「おはようございます。ヘルパーセンターです。」という訪問サービスの声が各居室から聞えてきて、朝が始まります。

期待と不安を抱きながらスタートした、福祉ホーム「パレット」での新しい生活も2ヶ月を迎えようとしています。

炊けたご飯がベチャベチャだったり、乾燥した衣類が子供サイズに縮んでしまっていたりと笑いあり、涙ありの毎日です。

初めての一人暮らしに、ちよつぱり緊張ムードも漂っていますが、さまざまなことにチャレンジすることで、新しい自分を発見できる場面もあるようです。

先日は、隣接する店舗で手作りケーキとコーヒーをいただきながら、初めての自称「パレット町会」を開きました。

夜間の災害の避難はどうするか、部屋の生ごみの処理についてなど、生活に根ざした質問が次々とできて、皆で町会の課題に取り組みました。

次回は、町会長を決めて、自主的な活動を行っていく予定です。どうぞ、新しい船出をご支援願います。

知的障害者更生施設 拓光園

弥生街道クリーン作戦

拓光園の利用者の皆さんが毎年春と秋、取り組んでいる活動の一つに地域清掃奉仕があります。

昨今のアウトドアブーム、ウォーキングの方が訪れるようになりました。今時は山菜採りの方々もたくさん見かけられます。大半の方はマナーを守りゴミなどは持ち帰ってくれている様ですが、やはり中にはつい捨ててしまう人もないわけではないありません。

豊かな自然に恵まれた弥生の里を汚してしまわぬよう、拓光園の利用者の方々がデレキ片手にゴミ拾いに出動するのはそんな時です。



今春は5月25日、拓光園の各作業班の精鋭たちが、チームを組んでクリーン作戦を開始しました。雨上がりの薫風の中、20数名の利用者職員が道端に目を凝らしながら歩を進めて行く

とマナーのよくなった昨今ではありますが、煙草の吸殻、空き缶、空き瓶、レジバック、お菓子の袋、等などが目つき思いわぬ収穫に驚かされたほどです。

私達の力は小さなものですが、ほんの少しでも弥生の里が美しくなることを願ってこれからもこの活動を続けていきたいと考えています。

拓心館グループ

「性に関する講習会」開催!

拓心館グループ『津軽障害者就業・生活支援センター』では、4月25日(日)『弘前市民参画センター』にて「性に関する講習会」を開催しました。講師に品川町『藤森医院』の藤森喜章先生を迎え、1時間30分間の講義をして頂き、地域のグループホーム・ケアホームに住む利用者75名が集い先生のお話を熱心に聞いていました。

- ① 性の歴史について
- ② 性の違いについて
- ③ 女性内性器と男性器の説明
- ④ 性と感染症について
- ⑤ 感染症の種類と感染症に罹るとどうなるのか
- ⑥ 愛情とセックス
- ⑦ 性行動の結末は?

⑧ 産婦人科の薦める避妊方法
先生が最も強調されていたお話は「自身と異性の体について正しい知識を持つこと」「避妊は男の責任、女のたしなみ」「愛情の伴う交際をする」という点でした。



パワーポイントを用いて動画を交えながら、受講者が飽きない工夫がされており、大変勉強になりました。利用者の方が最も関心をよせていたのが、避妊方法と感染症についてであり、「避妊方法を初めて知った」という意見や、「感染菌のウイルスの写真を見て怖くなった」等、理解を深めている様子でした。

開催の目的としては近年若い年代の利用者同士の恋愛が増えてきており、避妊や感染症の正しい知識を持ち、自身の成長に繋がる恋愛をして欲しい事と、妊娠、病気を始め性に関する事は女性のリスクが大きく、正しい知識を得て身を守るために講習会を開きました。

今後利用者のニーズにあった学びの場を設け、地域生活を支援していきま

身体障害者療護施設 山郷館グループ

外出行事 山菜採り

「山菜おがってらべな。昔は採りに行ったもんだ。」と送迎車輛の中で、ある利用者の方が言われました。どこかに杖歩行の方や車いすに乗った方でも採れる場所はないか。利用者の方に聞いてみると幸いにも近場でしかも道路沿いで採れる場所を知っている、という方がいらつしやり、さっそく利用者みなさんへ声掛けをして、出掛けることにしました。

出掛ける前は「出発は何時だ。早く出掛けよう。」と心待ちにされている声が聞かれ、行きの道中では、「春は休みの度にこの辺にわらび採りに来たもんだ。」「何が採れるだろう。」「今の旬はたらの芽だ。」と窓の外を眺め会話も弾みます。

昔、山菜採りに出掛けた方はもちろん、センターを利用してから初めて出掛けられる方もおり、杖歩行しながら採られる方、車いすに乗ったままで手を伸ばし頑張って採られる方、車内から「そこにわらびがある!右だ!左だ!見えないのか!」と教えて下さる方もいらつしやいます。自然の中での解放感からか、どの利用者の方もとても活き活きとした表情をされており、普段拝見するこ

とのない新たな一面を発見することができ
ます。

戻りの車内では、「歩ければもつと採
れるのに…」などと残念そうな言葉な
がらも、どこか充実感にあふれ、にこや
かに話されています。



こうしてみんなで採った山菜はセン
ターに戻り、天ぷらにして皆さんで御馳
走になります。自分達で採った揚げたて
の天ぷらの味は格別で、「これは自分で
採ったたらの芽だ。」「わらびの天ぷら
は初めて食べた。」とまた会話が盛り上
がります。採りに出掛けられなかつた方
も「めえ！」と最高の笑顔を見せてくれ
ます。

お腹も満たされた皆さんの笑顔もまた
格別で、山菜採りには毎年出掛けたいと
思っています。

特別養護老人ホーム サンアップルグループ ユニットケア報告

「個浴・トイレ・リビングの改修終了」

そもそもユニットケアとは何でしょう
か？



個別浴室



茶碗ふきが日課です。

ユニットケアとは、10人程度の少人数
を、一つのユニット(生活単位)とし、
日常の生活を送り、個別ケアを行うもの
です。では、4人部屋がほとんどの従来
の特養は、ユニットケアに取り組むこと
が出来ないのでしょうか。仮に居室を改
修し個室にしたとしても、集团的・画一
的にケアを行っていたとしたら、個別ケ
アとは言えません。そこで『サンアップ
ルホーム』では、定員80名、ショートス
テイ13床を8ユニットとし、一律の日課
(例えば入浴日)を設けず流れ作業のよ
うに業務を分担しない、ベット上で過ご
す時間よりリビングで過ごす時間を増や
すことをすすめてきました。こうしたケ
アをさらに充実させるために、生活環境
面の改修が必要だったのです。

「内部改修工事」は、昨年11月に着工
し約4ヶ月かかりました。風呂は大浴場
が姿を消し、重度者対応浴室と7つの個
別浴室となり、トイレはこれまでの棟毎
の3箇所から6箇所へ増やし、各ユニッ

トは、流し台の設置とく
つろぎやすい空間(リビン
グ)の改修をしました。こ
れにより「米をとぐ」「茶
碗を洗う」などの家事が出
来るようになり、ユニット
毎に御飯を炊くことができ
ます。トイレについては、
床に両足をつけて座れるよ
う便座の高さを低くしてい
ます。前号で
も報告した「日中おむつゼロ達成」に
は、日中の過ごし方も大きく関係してき
ますが、リビングで活動することで表情
の乏しかった方が笑顔を取り戻していま
す。『サンアップルホーム』では、これ
からも利用者の方々の生活を多方面から
サポートしていきたいと思えます。

身体障害者施設 旭光園 趣味が充実しています

山菜料理満喫

福祉ホーム『さわら』での生活も、7
年目となりそれぞれに生活スタイルが定
着してきました。今回はその『さわら』
の利用者Tさんの趣味を紹介します。T
さんの趣味は山菜取りと溪流釣りです。
ようやく今年も野山に出掛ける時期に
なつたと張り切っています。

健康のために始めた、山の散策ですが
今では、旬の山菜を取るのがメインにな
りました。山うど、たらの芽、あいこ、



竹の子するなど、自分で食べる分程度の物
を採って来ています。

今の時季、溪流釣りに出掛けるとカタ
クリの花が一面に咲いているところも
あり、釣果に関係なく、気分爽快にな
ると話しています。採ってきた山菜は、自
分で調理します。特にうどは、穂先はて
んぷら、皮はきんぴら、酢味噌和え等捨
てるところが無い程食べられ、得意料理
の一つです。他にも山菜料理のレパ
トリリーは多く、晩酌もつつい進むと
か・・・。

『さわら』では、入居者仲間それぞれ
れ作ったおかずを分け合いながら食べて
います。

山にも行かず、旬の山菜を食べられ、
美味しいと皆に好評です。

Tさんは「皆と一緒に掛け、四季
折々の自然と山の美味しい空気を一杯吸
わせたい。」と話しています。

趣味が高じて、仲間との食を楽しむな
がら、余暇を充実することが健康の源に
なっています。

社会福祉法人 七峰会 平成21年度 決算報告書

これは、平成22年5月10日～19日に法人監査を行い、平成22年5月27日に評議会の同意を得て、同日理事会において承認されたものです。尚、閲覧は法人本部事務所にて可能です。

貸借対照表 (平成22年3月31日現在)

(単位：千円)

資産の部		負債の部	
勘定科目	金額	勘定科目	金額
流動資産	1,554,767	流動負債	295,088
固定資産	3,881,364	固定負債	63,270
基本財産	2,056,597	負債の部合計	358,358
その他の固定資産	1,824,767	純資産の部	
		基本金	573,005
		国庫補助金等特別積立金	595,778
		その他の積立金	992,875
		次期繰越活動収支差額	2,916,115
		(うち当期活動収支差額)	369,907
		純資産の部合計	5,077,773
資産の部合計	5,436,131	負債の部及び純資産の部合計	5,436,131

脚注 1. 減価償却費の累計額 2,147,550千円
 2. 徴収不能引当金の額 0千円

事業活動収支計算書 (自平成21年4月1日 至平成22年3月31日)

(単位：千円)

勘定科目	金額
事業活動収入	2,370,092
事業活動支出	2,001,152
事業活動収支差額	368,940
事業活動外収入	428,175
事業活動外支出	426,087
事業活動外収支差額	2,728
経常収支差額	371,668
特別収入	215,496
特別支出	217,257
特別収支差額	△1,761
当期活動収支差額	369,907
前期繰越活動収支差額	2,468,852
当期末繰越活動収支差額	2,838,759
基本金取崩額	
その他の積立金取崩額	398,414
その他の積立金積立額	321,058
次期繰越活動収支差額	2,916,115

資金収支計算書 (自平成21年4月1日 至平成22年3月31日)

(単位：千円)

勘定科目	金額
経常活動収入	2,757,873
経常活動支出	2,259,870
経常活動資金収支差額	498,003
施設設備等収入	63,289
施設設備等支出	457,093
施設設備等資金収支差額	△393,804
財務活動収入	398,414
財務活動支出	326,108
財務活動資金収支差額	72,306
当期資金収支差額合計	176,505
前期末支払資金残高	1,076,848
当期末支払資金残高	1,253,353

注記
 1. 棚卸資産については、資金収支計算より除く。
 6,326千円

総合支援事業

青森県指定
 弘前市委託事業
 弘前市障害者生活支援センター ☎24400
 弘前市北郷地区包括支援センター ☎21000
 黒石市委託事業
 山郷館総合支援センター黒石 ☎5018

障害者支援事業

主に知的
 知的障害者生活施設 拓光園 ☎23331
 通所利用事業
 拓光園短期入所支援センター
 拓光園障害児デイサービスセンター
 拓光園日中一時支援事業所
 拓光園共同生活介護事業所(2ヶ所)
 自立訓練事業(宿泊型自立訓練生活訓練)
 拓光園グループ ☎4520
 津軽生活支援センター共同生活介護援助(はあと)児童デイサービス
 就労サポート(さき)就労移行就労継続B型事業
 勇心学園(就労訓練施設)
 エイブル(生活介護 就労継続支援B型)

主に身体
 身体障害者福祉施設 山郷館 ☎2211
 山郷館身体障害者(自)短期入所事業所
 山郷館デイサービスセンター
 山郷館デイサービスセンター弘前
 山郷館デイサービスセンターくれよん
 山郷館地域活動支援センターくれよん
 山郷館訪問介護センター
 山郷館訪問介護センター黒石 ☎6080
 山郷館「パレット」福祉ホーム ☎5155
 身体障害者福祉施設 旭光園 ☎3070
 旭光園身体障害者短期入所事業所
 福祉ホームさわら

高齢者介護事業

特別養老老人ホーム
 サンアップルホーム ☎2111
 サンアップル短期入所生活介護センター
 サンアップルホームデイサービスセンター
 サンアップルヘルパーセンター ☎3758
 認知症グループホームアップル ☎2778
 認知症デイサービスセンターじよい ☎2013
 サポートセンターわかば ☎1165
 認知症グループホームわかば
 デイサービスセンターわかば
 サンアップル在宅介護支援センター ☎2131
 住宅型有料老人ホーム「わかば」 ☎1888

居宅介護支援事業

山郷館居宅介護支援センター ☎2941
 サンアップル居宅介護支援センター ☎2131